



まごころ新聞

第18号

株式会社 真心 広報部
2018年3月10日発行

日々の心遣いと工夫が大切

代表 秋吉ふさよ

早いもので、三月、弥生の月になりました。
弥生の由来は、草木がいよいよ生い茂る月

「木草彌や生ひ月」(あくわじやおひづき)

が詰まって「やよひ」となったという事です。



とは云え、相変わらずの寒さ、

寒さは体温を下げ、免疫力の低下を招きます。

もともと免疫機能が衰えている高齢者は、冬に感染症にかかるリスクが高まるため、十分な注意が必要です。また、寒さによる身体の冷えは血行不良を招き、肩こりや膝の痛みなども誘発します。施設においても、皆さんが体を冷やさないように、防寒対策はもちろん、体を動かして体温を上げるなど励行しているところです。

具体的には、毎日継続して簡単な体操などを

おこなっています。

その成果もあってか、

その一つ、

竹踏み歩行練習で、

足のむくみがなくなった、

という報告もあります。



また、毎日「あくび体操」を勧めています。

あくび体操とは簡単に言えば、「あー」「ひー」「ひー」「べー」と口を大きく動かす体操です。

これを一日、何回か繰り返すだけで、免疫力の向上が期待できるという優れた体操です。

これで、「口呼吸」から、人間本来の呼吸法である「鼻呼吸」になり、免疫力アップ・感染症予防にもなります。これも実際、風邪をひかないで過ごせている。などの声が出ています。

家庭的な施設だからこそ出来る、チョットした工夫です。これからも、いろいろな心遣いを大切にしていきたいと思っています。

ひとつ、今後とも宜しくお願ひします。

笑いヨガ

笑いは、健康にものすごく効果がある。

月二回、

笑って歌って踊って、

笑いヨガを楽しんでいます。



今回は、ゲームを通して自然な笑いヨガ。



『今年も一年間、健康で守って下さい』
と火壳神社へ行ってきました。

餅つき忘年会

つきあがつた餅は、「酢餅」に・・・
「杵でついたのは美味しい」と、皆笑顔でした。
つづいて午後は、忘年会、さくらんぼの会の
フラダンスに踊りや唄の慰問もあり大盛況の
忘年会でした。



唄の慰問



季節に合った歌を
大きな声で唄いました。

クリスマス会



いつくしみの子供たちと
クリスマス会を楽しみました。
ハンドベルの演奏や
紙芝居・クリスマスソング
を唄つて
大いに盛り上りました。



二月十九日
吉四六さんが来ちくれた。
吉四六話で大笑い、楽しい時間を過ごしました。

吉四六さん



「鬼は外」
「福は内」
と鬼に向かって
豆を投げ、
新しい年の福と健康を
願いました。
迫力と笑いの豆まきでした。



2月3日

誕生日会

利用者の皆さん
からのお祝い
を受け、素敵な
誕生日会でした。



3・4月の予定

- ・花見・誕生日会
- ・ひな祭り・笑いヨガ
- ・家族会
- など



連絡先

ご意見・ご感想、また
施設利用希望の方など
お気軽にご相談ください。

まごころ

〒874-0841 別府市竹の内4組の1

TEL 0977-75-8851

担当：松丸・姫嶋まで



12月

- ・北島様・加藤様

1月

- ・窪田様・佐藤様・長野様

2月

- ・奈須様・篠澤様・前村様
- ・佐藤様・廣瀬様